

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	精索静脈瘤とナットクラッカー症候群の関連についての検討 [倫理審査受付番号：第 4118 号]
研究責任者氏名	山本 新吾
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木敬一郎
研究期間	2022 年 7 月 8 日 ～2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	① 疾患名：精索静脈瘤 / 診療科名等：泌尿器科 ②腎疾患疑いで腹部超音波検査を受けた方 / 診療科名等：小児科
	受診日：西暦 2018 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報（診療の過程で取得） <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ()
研究目的・意義	小児患者さんの精巣静脈瘤の手術適応は精巣の左右差や疼痛などの症状です。成人例よりもナットクラッカーの比率が高いと報告されていますが、日本での詳しいデータはありません。今回の研究では精索静脈瘤患者さんと精索静脈瘤のない人に腹部超音波検査を行ない、ナットクラッカー症候群の割合を調べることを目的としています。小児静脈瘤の原因がナットクラッカーだとすれば、手術が必要ないかもしれません。
研究の方法	今回の研究では腹部超音波検査を用いて、精索静脈瘤のある患者さんとなない患者さんのナットクラッカー症候群の有病率を比較します。上記患者さんの腹部超音波検査データを解析し、ナットクラッカー現象を認める割合を比較します。年齢や検尿所見、また精索静脈瘤患者さんでは手術の有無、症状、静脈瘤のグレード、患側、精巣容積についても解析します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結

	果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：泌尿器科 担当者氏名：田口元博 [電話] 泌尿器科医局 平日（9時～17時） 0798-45-6366 時間外 代表番号 0798-45-6111